

願成寺報

平成二十六年三月十日

〒四四〇・〇八二二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

■ 春季彼岸・永代経のご案内

今このままを慶ぶことが 仏様への報恩です
そのままの慶びをご一緒に 見つめ直しましょう

○ 餅つき・草取り会

恒例になりました。
春き立てのお餅をオヤツにします。
楽しい会になっています。
仲間が増えればもっと楽しい！
是非、ご参加下さい。



三月 十八日(火) 午後一時 餅つき・草取り会

二十日(木) 午後一時半 法要のみ

二十一日(祝) 午前十時 法要・落語、法話
成田屋紫蝶 師、住職

正午 お斎(昼食)

午後一時 法要・落語、法話
成田屋紫蝶 師、住職

「お寺で落語」

世間虚仮 唯仏是真

《聖徳大師》

よるずのことみなもってそらごとたわごと
まことあることなきにただ念仏のみぞまことにておわします

《歎異抄・親鸞聖人》

煩惱具足ト信知シテ 本願力ニ乗ズレバ

スナハチ穢身ステハテテ 法性常樂証セシム

《善導禪師和讃・親鸞聖人》

世間や私自身を「そらごと・たわごと」と笑い飛ばした時、
その後に残るものは何でしょう？

ひよっとすると、仏に抱かれた私を発見するかも知れません。

仏教文化の中で育った日本の話芸には、そんな期待が持てます。
話芸のルーツは、お寺での説教だということです。

ご存じでしたか？

お寺で落語を聞く、思ったより大きな意味がありそうです。

大袈裟ではなく、皆様の人生を転換する扉が開くかも知れません。
乞うご期待！



成田屋紫蝶 (なりたやしちょう) 師

豊橋天狗連の大御所
大きな寄席で大トリをとる実力者
古典の腕前はプロをも凌駕する？

ダンディな色気も魅力の一つ

市長にはならなかったが、
福祉団体の重役を務めている

住職もお世話になっており、
大入りにならないとマズイかも…
住職を助けると思って

まずはご来場(ご聴聞)下さい

♪宜しく願い申し上げます

● 正信偈ノート ⑩・釋迦章 IV

書き直しを恐れず、今、思い浮かぶところを書き留める

黄色の勤行本の

二十二ページから

獲信見敬大慶喜 即横超截五悪趣

信を獲れば見て敬い大きに慶喜せん、即ち横に五悪趣を超截す。

・獲信見敬 如来の信を獲て敬いの心で世界を見ること (筆者)

・即横超截 即時に(迷いの輪廻)を絶ち超越すること (筆者)

・五悪趣 煩惱の支配によって赴くことになる迷いの世界

瞋恚↓地獄、貪欲↓餓鬼、愚痴↓畜生、

疑惑↓修羅、邪見↓人間、驕慢↓天 (筆者)

一切善悪凡夫人 聞信如来弘誓願

仏言広大勝解者 是人名分陀利華

一切善悪の凡夫人、如来の弘誓願を聞信すれば、

仏、広大勝解の者と言えり。この人を分陀利華と名づく。

・広大勝解 広大殊勝の法を理解すること (筆者)

・分陀利華 白蓮華のこと

卑湿汚泥の中に清らかな白い花を咲かせる (筆者)

(浄土真宗本願寺派・注釈版聖典より)

・『慶』のよろこび

「信心を得る」とは、すでにお慈悲の中であつたと再発見することであり、如来の「我に任せよ」の呼び声に頷くことでした。

けれど、私達はこの「任せる」が出来ずに悩み苦しむ「神も仏もない」と不満を云い、不遇を呪います。

「信を獲る」は、私達凡夫の身に本当に完成するでしょうか？
絵に描いた餅のように思われます。

ヒントは『慶』に秘められています。願いが叶ったよろこびを、『喜』で表しますが、願いが破れた中でしみじみ感じるよろこびも私達は知っていて、『慶』を使うと思います。

・遠慶宿縁(遠く宿縁を慶べ)

例えば平凡な毎日を私達はつまらないと感じますが、それが慶ばれてくる場面があります。遺影を選ぶ時、沢山の写真の中で一番見入ってしまうのは、着飾って晴れがましい写真よりも、普段着の一枚ではないでしょうか。なかなか撮らないですが、いつもの場所・時間・表情の中に慶を見出していると思います。

宿縁は、それが遠くなつて自分の想いが薄れた所で慶ばれてくるものかも知れません。そのことに気付けば、必ず慶に包まれると確信でき、愚痴を言っている自分を客観視する眼が開かれます。その眼なら、愚痴の中でも、将来を暗く観ることは無くなります。

・善悪に拘る凡夫の濟い

善に拘り・悪を恐れる私達は、罪の意識に苦しみます。例えば突然の死別の際し、それまでの行いを悔いる場合を考えます。後悔は罪の意識へと変質し自身を締め上げるでしょう。その人から許されるまでこの苦しみは続きます。別れた人が仏となって赦してくれる… 褒め応援してくれている… そんな声を聞く必要がありません。その声は、如来の「凡夫よ…」との呼び掛けがしみじみと心に届いた時、ハッキリと聞かれるのだと思います。

・まとめ

『心多歡喜の益』慶に目覚めて愚痴の迷いを破る益

『諸仏稱賛の益』稱賛の声を聞き、善悪の拘りを超える益

こんな内容を表現されたと戴きます。



「贈る言葉く中学卒業の君へく」

入学の頃から比べると、身体は立派になって青年になりました。

体育祭では激しい競技を立派にこなし、頼もしい姿に驚きました。

けれど中身はというと…、中身は…、中身は全くなってない。

自分勝手だし、細かいことに気をとられて本筋を外すし。

本当は駄目だと分かっているながら、意地を張っていましたね。

いつもイライラして物を壊し、壁には大きな穴が空きました。

親の助言を鬱陶しがりながら、そのくせ甘えて頼ってくる。

受験勉強で、朝、早く起こせというので頑張って早起きして、

起こしても、起きないどころか逆切れして怒鳴り散らす始末だし。

だから修学旅行など心配でたまりませんでした。

君のことは何処へ出しても恥ずかしいと思っています。

文化祭のコーラスは素直な歌声で素敵でした。

心の底から「中学があつてよかった」と感じました。

本当はもう二・三年留まって貰いたいのですが仕方がありません。

卒業、おめでとう。

義務教育を終えたということは、昔でいえば元服です。

物質的にはまだでも精神的には自立しなければなりません。

自立ということは、自分自身に責任を持つということです。

自分自身に責任を持つためには、次の心得が必要です。

・ 過ごしてきた結果としてそこにある今に領く事

・ 沢山の縁や仲間に関われ支えられていることに目覚める事

・ 君を待っている仕事があると忘れない事

そんな覚悟を持ったならば、もう何も云う事はありません。

一人前の君と、共に歩んで行こうと思います。



バスツアーご案内

四月三日(木)く十一日(金)三重県津市・高田本山にて

『一光三尊佛御開扉』法会が勤修されます。

栃木県の本寺から、ご本尊をお迎えしての大法会です。

御開扉は十七年に一度とされており、希有な勝縁です。

四日には、青山俊董師のお話があります。

曹洞宗・特別尼僧堂堂長を勤められますが、

著書も多く、素敵な先生です。

暖かい眼差しで先生で、是非ご聴聞頂きたいと思ひます。

温泉旅館に泊まってユツタリし、

大宴会でハメを外します。

五日は、京都のお寺に参拝し、

太秦映画村などを観光します。

楽しい旅になると思ひます。

最低催行人数を二十人と考えています。

遠慮することなくご参加下さい。

人数が集まらないと…

■日時 四月四日(金)く五日(土)

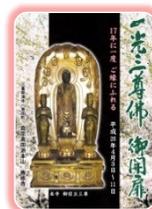
■日程 催行決定後お知らせします

■会費 二万円

■募集人数 四〇名

■申し込み 寺まで申込み下さい

お彼岸明けにメ切ります



行事予定 平成二十六年十二月まで

四月	一日 (火)	月例法話・茶話会
	四日 (金)	本山参拝・バス旅行
	五日 (土)	一光三尊仏御開扉法会＋京都
五月	一日 (木)	月例法話・茶話会
	三十一日 (土)	法話イベント(大垣市 讓西賢師) 詳細は左記にて
六月	一日 (日)	月例法話・茶話会
七月	一日 (火)	月例法話・茶話 月例会は
八月	一日 (金)	月例法話・茶話 午後一時
九月	一日 (月)	月例法話・茶話会
	二十三日 (火・祝)	秋季彼岸・永代経法会(戸田恵信師) お馴染みの先生の情熱的な法話
十月	一日 (水)	月例法話・茶話会
十一月	一日 (土)	月例法話・茶話会
	三日 (月・祝)	本山団体参拝(日帰りバス旅行)
十二月	一日 (月)	月例法話・茶話会
	六日 (土)	報恩講
	七日 (日)	真宗寺院で最も重要な行事です

五月・法話イベントのご案内 午後一時半より本堂にて

どうにもならない現実に向面したとき、「どうにかしたい」を手放さなければなりません。

手放し方と、その後に残る大切な事について考えます。



讓西賢先生プロフィール
大垣市慶円寺住職・岐阜聖徳学園大学教育学部教授
臨床心理士・学校心理士
著書『自分の「心」に気づくとき』法蔵館

後記

○ ソチ・オリンピックが数々のドラマを紡いで閉幕しました。

○ 一段一段成績を上げて、今度こそメダルに届けと挑んだモーグルの上村愛子さん。惜敗し念願は叶いませんでした。世間は採点を疑いましたが、本人は「メダルは取れなかったけど清々しい」と。滑り終えた直後に溢れた涙の中に、結果への拘りを洗い流したと思います。次のオリンピックについて「後輩たちが引き継いでくれます」。我執が廃れ、支えられた慶びに包まれていました。

○ 種目最年長メダリストとなった葛西選手。個人ラージヒルで銀メダルを手にした時「努力は報われる」と言いました。報われ実ったのはメダルではなく友情だったのですね。団体銅メダルの中で喜びを分かち合った姿が印象的でした。

○ 金メダルに拘って準備し、日本中の期待を背負って臨んだフィギュアスケートの真央ちゃん。ショートプログラム十六位で「何もわからない」と呆然としていました。失敗をしてはいけないという重圧が、心と身体を縛り付けていたと思います。

失敗後、沢山の応援が世界中から届きました。結果は気にしない、のびのびとした演技と笑顔が見たい、と。佐藤コーチも「何かあったら助けに行くから」と送り出しました。フリーでの完璧な演技。直後の涙に世界中がもらい泣きしました。真央ちゃんは形のない特別なメダルを手にしたと思います。

真央ちゃんが自由になるために必要だったことは何でしょう？必要なことは何もなかったと思います。ただ「メダルへの拘り」を手放すだけでよかった。困まれて・応援されて頑張れた、そして今も応援されている。その事実が『任せる』ことが出来たかどうか分かれ目だったと思います。

○ 沙羅ちゃん他、沢山の選手も感動をありがとうございました。皆様の姿に接して私はこんな標語を思いつきました。

足し算を喜び 引き算に慶ぶ



願成寺報

平成二十六年五月十七日

〒四四〇・〇八二二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

特別法話会のご案内

～ 本紙三面に案内チラシ掲載 ～

五月三十一日(土) 午後一時半から特別法話会を開催します。
デパート等の感謝祭のような感じで考えています。
会費無料ですので、お賽銭すら持たず、
お気軽にご聴聞下さい。

平成二十二年七月にもお越し戴き、
好評だった先生です。

笑いと眼から鱗のお話 が盛り沢山です。

若い人やお友達にもお声掛け頂いて、
お気軽にご来寺下さい。

ご講師(讓西賢先生)ご紹介

1953年岐阜県生まれ

名古屋大学大学院教育学研究科

教育心理学専攻

博士課程後期課程満了

真宗大谷派慶円寺住職

真宗大谷派真宗本廟教化教導

岐阜県聖徳学園大学教育学部教授

同大学仏教文化研究所所長

臨床心理士・学校心理士



最近の著書
2011年
法蔵館

目次

- 一 人間の心の危うさを知る
- 二 如来の励ましによる気づき
- 三 如来の受容によるすくい
- 四 阿弥陀如来と共に生きる

「因果の道理と縁起説」

初七日の法要で気持ち良くお勤めしていた時、
供物のリングが転がりました。

仲の悪かった息子さんは「お爺さんが怒っている」と怖れ、
娘さんは「おちゃめなお爺ちゃんネ」と微笑みました。

葬儀屋さんは「シマッタ」とうろたえ、

私はお経の声を落としました。

ミサンガ(願いを掛けた組紐の腕輪)が切れたら吉で、
念珠・下駄の鼻緒が切れたら凶。

人間は事象に際して、その意味を読み取ろうとしますが、
その答えは、その人の心理・立場・都合によって変化します。

仏は**因果の道理**を善因善果・悪因悪果・自因自果と語りますが、
衆生はこの道理を据えることが出来ません。

私の延長線上でしか善悪を判断することができないからです。

判断は、その時の都合によってブレたりします。

なのに衆生は因果の道理を語ります。

自分勝手に現実を弁護したり諦めたりする場合に使用しています。
語られた理は結果から原因を導いた果因の関係でしかありません。

釈尊は、衆生において必ず自縄自縛となる縦の関係の因果を捨て、
横の関係に重きを置いて、**縁起の理**を説いたと思います。

因として自性するものは無い、ただ縁あるのみである…

親鸞聖人は「全ての縁を善とあがめよ」と仰っている気がします。

弥陀の本願念仏は、それが出来ない悪凡夫のために授けられた、
道具としてではない、唯一自性する娑婆の通行手形だと思えます。

弥陀智願ノ広海ニ 凡夫善悪ノ心水モ

帰入シヌレバスナハチニ 大悲心トゾ転ズナル

《正像末法和讃・親鸞聖人》



● 正信偈ノート ⑪ ・ 結 誠

書き直しを恐れず、今、思い浮かぶところを書き留める

黄色の勤行本の

二十四ページから

弥陀仏本願念仏 邪見憍慢悪衆生
信樂受持甚以難 難中之難無過斯

弥陀仏の本願念仏は、邪見憍慢の悪衆生には、信樂を受持すること、はなはだ難し。難中の難、これに過ぎたるはなし。

・ 邪見 不可思議なる仏の存在や教えを、知覚・証明・納得

できないことを理由に退ける見解

よこしまな考え

(筆者)

・ 驕慢 自身に愛着して驕り、他に対して自慢すること

真実を知らず自力の立場に囚われた態度

(筆者)

・ 信樂 他力の救済を信じ願うこと

如来の呼び声に頷き・任せること

(筆者)

〔浄土真宗本願寺派・注釈版聖典より〕

・ 衆生の姿

これまで仏説無量寿経に依って本願念仏の由来・功德・救済について述べられてきました。けれど今回、まとめの部分に至って、私達衆生がその済いに与えることは「難中の難」と示されます。

無量寿経の巻下には「三毒五悪段」が配置され、我に執らわれた衆生のおさましい姿が説かれます。そして、「難中の難」の原因はこの我執にあると断定されます。

それが我執であることをわきまえず、「私の済い」を求めても仏には遇えず、迷いを脱することもできません。

無量寿経の言説は複雑ですが、我執（邪見・驕慢）|| 悪と断ずればスッキリします。逆に我執から離れる事|| 善となりませんが、凡夫には不可能なので、善|| 我執ある身を自覚し仏に任せる事（不

可思議なる仏を恭敬すること）となります。邪見と驕慢のまま、そんな念仏が称えられたとしたら、それは有難い中にも有難いことと云えるでしょう。

・ 真宗の済い

真宗の済いは、我を仏に投げ入れることよってのみ完成すると戴きます。私の諸問題を解決する済いではなく、状況はそのままで、それを抱える主体・我を小さくする済いだと思います。

例えば大事な会議に遅刻した場合、時を戻すことができれば問題解決ですが叶いません。独りで会議室に顔を出すのに躊躇したとき、上司と一緒に謝ってくれたら救われます。逆に上司との絆が確認でき、会社での働き甲斐が増すかも知れません。

・ 「任せる」の難しさ

具体的には「我に任せよ」の呼び声に「ハイ」と頷くことです。が、実際にはなかなか声は聞こえず、任せきることが出来ません。

大手術の前に、医者に身体を委ねる時、どんな風に考えるでしょうか。病の重さを知り、先生の手腕・手術歴等を調べて「他に助かる道はない」と極まって初めて誓約書が書け、手術台に寝るのだと思います。

・ 願力ということ

俎上に乗る、我を仏のメスに委ねた時、仏に遇い、逆に我の生き甲斐を見出すことができると思います。そんな済いに与るためには、まず弥陀の願力を信頼する必要がありますが、それを真慧上人の御書に聞きつつ、依経段を閉じ、依釈段に進みます。

ただ肝要は願力の不思議をききえて名号を唱うべきなり。
願というは名号、力というは相承直説なり。

〔高田派十世 真慧上人・御書より〕

楽しい法話会

“そのままの私が願われている”

どうして私は吉永小百合じゃないんだろう・・・と考えたことはありませんか？
同級生の彼女だったら比べたことがありますか？
そんな時 前世の行いが悪かった・・・等と 自分を慰めたり 諦めたりしてませんか？
それを悲しいと思ったら 是非 御来聴下さい

譲 西賢 先生

住職と心理カウンセラーの2つの肩書と噺家の素質を持っておられます。
楽しい話しぶりの中に深い内容をお聞きします。

例えば、どうにもならない現実直面した時、「どうにかしたい」を手放さなければなりません。その **手放し方** と、だからこそ目覚める **大切な事** について考えます。



譲 西賢 (ゆずり さいけん)

岐阜県 真宗大谷派慶円寺 住職
岐阜聖徳学園大学教育学部教授
臨床心理士 ・ 学校心理士

著書

『自分の「心」に気づくとき』 法蔵館
『今、ここに生きる喜び』 法蔵館
『ベーシック心理学』 (共著) 医歯薬出版 他

◆ 日時 **5月31日(土)** 午後 1時半 ~ 3時くらい

◆ 会場 真宗高田派 願成寺 本堂 ・ 境内

◆ 駐車場 当山 (20台)、イズモホール 貴賓館 様 駐車場 *

* ご厚意で停めさせて頂きます
葬儀等にご配慮下さい

◆ 会費 無料

◆ 問合せ 真宗高田派 正覚山 願成寺 (がんじょうじ)

440-0812 豊橋市東新町 28

☎ 0532-52-9601 / 090-5104-5886



行事予定 平成二十六年十二月まで

五月 三十一日 (土)	法話イベント(大垣市 讓西賢師)	詳細前出
六月 一日 (日)	月例法話・茶話会	
七月 一日 (火)	月例法話・茶話会	月例会は 午後一時
八月 一日 (金)	月例法話・茶話会	
九月 一日 (月)	月例法話・茶話会	
二十三日 (火・祝)	秋季彼岸・永代経法会(戸田恵信師)	お馴染みの先生の情熱的な法話
十月 一日 (水)	月例法話・茶話会	
十一月 一日 (土)	月例法話・茶話会	
十二月 三日 (月・祝)	本山団体参拝(日帰りバス旅行)	
十二月 一日 (月)	月例法話・茶話会	
十二月 六日 (土)	報恩講	
十二月 七日 (日)	真宗寺院で最も重要な行事です	

一光三尊佛御開扉法要にお参りしました



当山としては三回目の一泊バスツアーでした
 参加者がなかなか集まらず
 無理にご協力頂いた方
 ありがとうございます
 全体として 楽しく過ごすことが出来ましたが
 ご不快なこともあったかも知れません
 お叱り頂ければ 善処致します
 行事を通して皆様と絆を深めたく思っています

後記

- ウルトラマンがヒーローになるための条件について考えました。いろいろ思い付きますが、最も大きな条件は、怪獣が大暴れすることだと気が付きました。
- 怪獣が大暴れしなければウルトラマンは変身できず、その能力を発現することが出来ない、ヒーローになれません。逆に力を持て余して、ウルトラマン自身が怪獣になるかも知れません。
- ウナギの稚魚の輸入の話を知りました。カナダからウナギの稚魚を空輸する場合、一日かかるそうです。その間に稚魚の九割が水槽の中で死んでしまうのだそうです。効率が悪いのでいろいろなものを水槽に入れて試した所、八割が生き残る方法が見つかりました。何を入れたのか？ ナマズを入れたそうです。稚魚はボンヤリしているとあちこちぶつかって傷ついて死んでしまいましたが、ナマズがいると頑張って必死で逃げ回るので生き残るそうです。
- 二割は食べられてしまうのですが、九割死ぬより良いようです。
- 菊の切り花を長持ちさせる方法をテレビで見ました。葉っぱの一部分をハサミで切るそうです。
- 菊は傷ついた所を護ろうと免疫力を発揮するそうです。その力が全体に回って、結果、花が長持ちすると紹介していました。
- 九十三歳のお婆さんのお弔いに沢山の人が駆けつけました。弔辞も二本読まれ、心が伝わり合う尊いお葬式になりました。ボランティアサークルの仲間からお母さんと呼ばれるその人は、聾の人でした。生活の不自由は想像するしかありませんが、不幸ではなかったと感じました。
- 障害を縁として、家族や仲間との強い絆の中で豊かに過ごされたと思います。
- たとえ不都合な縁でも、一直線に悪縁とは限りません。その縁に際して、どんな態度を取るかが分かれ目です。

